

令和6年度

委員会だより

N O . 3

教育・環境委員会編

北海道PTA連合会

令和6年12月7日（土）に今年度最後の第3回委員会が開催されました。

《今年度の取組や研究のまとめと次年度の方向性等についての協議》

【成果】

- ・本委員会からの推薦で「子育てを支える学校と地域のつながり」をテーマに提言をいただいた。児童数の減少とともにPTA会員数の減少にも直面する中、学校という場を地域との連携の中核に据えることで、子どもだけでなく大人も一緒に楽しい時間を共有できるようになった。今後も地域とともに子どもたちの笑顔のために継続していくという報告に元気づけられた。
- ・「大人の環境整備」については、各地区・単Pの活動について交流をすすめるとともに、「アフターコロナ」について各地区の実態についても交流を行った。単Pの活動とコミュニティー・スクール（CS）の活動についてそのねらい等違いはあるはずだが、明確に分けられていない実態についても交流を行った。
- ・各地区の研究大会等について、多岐にわたる交流は非常に有意義だった。各地域での解決が難しい課題があることを浮き彫りにできた。子どもの健やかな成長を支えるために大人がどう関与するかというPTA活動の原点に立ち返り議論していく必要性が確認された。

【課題】

- ・会議に参集できない委員はオンラインで参加するなどの工夫を継続してきた。今後も会同による委員同士の信頼関係を深めるとともに、持続可能なPTA活動に向けて意見をかわし合うことこそが、北海道におけるPTA活動の将来をかたちづくる第一歩となることを確認した。

【次年度の方向性】

- ・研究テーマと視点に照らし、全道で進められている活動の好事例を積極的に発信していく。
- ・単Pの活動とCSの活動についてねらいを明確にした上手な棲み分けについて調査研究する。

《参加した委員から各地区の実践と情報の交流》

*単PとCSの違い。それぞれの地域ではどうなっているのか。

- ・PTA=CSとなっている地域もあるため、いま整理している。
- ・イコールになるとCSがあればPTAはいらないってことになる。
- ・役割は違うことを理解し、整理していくと上手な棲み分けにつなげられるのでは。
- ・評議員の延長にCSがある状況のところも。
- ・地区によってごちゃごちゃになっているところもある。
- ・CSについての研修を行って理解をすすめている。
- ・CS、PTAの役割をはっきりさせておくことが大切。
- ・CSが十分に周知されていないが、なんとなくうまくやっている状況。
- ・メンバーにもよるところがある。
- ・困ったところへの参考（アドバイス）になるような提言になるとよい。

*地区研等の交流

- ・特支の研修をすることで、学びが広がった。
- ・隔年で提言と研修を実施。提言はこれまで教頭が作っていたがPTAが作ることに変更。
- ・子育て研と地区研をあわせて実施。
- ・130名参加で絵本の読み聞かせの方による講演会。
- ・名称を子育てフェスに。気軽に参加できるように。8分科会 広報紙も活用して宣伝。
- ・600人程度 食育について講演（調味料等の話）

*委員の皆様には、お忙しい中、委員会へのご出席、ご意見をいただき、ありがとうございました。また、各地区での活動もありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

*「委員会だよりNO. 3」は道P連のホームページ「教育・環境委員会だより」に掲載されます。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目

S T V時計台通ビル6階

TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp